



●<第14回>ポトムの楽校

クロスワードパズル

正解者には抽選で図書カードをプレゼント!

答えはすべてかなでかいてね。

【タテのカギ】

- 1 子ども記者は3つの〇〇〇〇〇〇を探検した(2ページを見て)
2 町の中の細い道。「路地」と書く
3 明治27年の利根川水源探検はこれを持っていった(6ページを見て)
5 カギを英語で(=key)
7 子ども記者がはじめにおとずれた〇〇発電所(2ページを見て)
8 田んぼや畑に「タネ」を「まく」こと
9 低いと寒い。高いと暑い。0度以下だと水がこおる。
11 ポトムは利根川の水の〇〇(1ページを見て)

【ヨコのカギ】

- 2 今回の子ども記者はなん人?(1ページを見て)
4 魚がたくさんあつまる東京の市場。「築地」と書く
6 パレンタイン〇〇。ハッピーパス〇〇。「日」のこと
7 クリスマスにやってくる〇〇〇クローズ
9 利根川の源流地域は〇〇〇〇とよばれている(6ページを見て)
10 利根川を「本川(ほんせん)」といい、利根川にそそぐ川を「支川(しせん)」という
12 カッパがよく川にひきずりこむといわれる動物。大きくて足がはやいよ
13 クルマや船などに酔わないようのむくすり

【答え】二重わくの中の字をABC順にならべてね。それが答えだ。

A B C D E F



答えがわかった小・中学生は、住所・氏名・学校名・学年・電話番号・答え(A B C D E F)を明記のうえ、メール・ファクス・はがきのいずれかで送ってね。正解者の中から抽選で20人に図書カード(1000円分)をプレゼントします。

感想や意見などを送ってくれた人にはオリジナルグッズをプレゼントします。

- あてさき 〒371-8666 前橋市古市町1-50-21 上毛新聞社広告局 「川の子ども新聞」係
■ファクス/027-254-9904
■メール http://www.raijin.com/kawaにアクセスして、応募フォームから送信してね(携帯電話からもアクセスできます)。
■しめきり/2006年1月31日(火)

■前回(第13号)のこたえ

「しなきだむ」



たくさんの応募ありがとうございました。



ポトムのQ&A

どうしてもわからなくて、どうしても知りたいこと、あるんだけど…教えてポトムくん!

から守るためには堤防が必要だったんだ。12世紀の末... 堤防がきずかれ、まちがつくられた。そこで、その堤防にかこまれたまちの名前が「アムステルダム」になったんだって。やがて、それが英語になり、世界へひろまってきたというわけだ。

なぜ「ダム」は「ダム」となるの?
なるほど。みんなもよく知っている「ダム」ということばが、なぜそうよばれるのかという質問だね。そこでダムの語源をたどってみると、オランダという国にいきついた。オランダ語で堤防を指す言葉がダムなんだ。むかしからオランダでは、海に面した土地を埋め立てて国土をひろげてきた。しかし、埋め立てた土地を水から守るためには堤防が必要だったんだ。12世紀の末... 堤防がきずかれ、まちがつくられた。そこで、その堤防にかこまれたまちの名前が「アムステルダム」になったんだって。やがて、それが英語になり、世界へひろまってきたというわけだ。



ダム湖って何もの?
あの広いダム湖も、こおることがあるよ。とくに利根川源流にある矢木沢ダムの「奥利根湖」と奈良俣ダムの「ならまた湖」は、きびしい冬のあいだ、ほぼ湖全体がこおってしまうんだ。部分的にこおりはじめるのは毎年1月前半からで、2月前半からは湖全体がこおりはじめ、約2カ月もこおったままなんだって。「それじゃ、ダムから水を流したくても流せないの」というと、そんなことはない。こおってしまっても湖の表面だけだし、奈良俣ダムでは、水を流すところ(取水口)で「エアレーション」といって、小さな空気のあわを出しつづけているので、そこはこおることがないんだ。それから矢木沢ダムでは、湖はこおっているけれど、こおっていない下のほうから水を流すようになっているので、だいたいようぶなんだよ。



湖がこおった「ならまた湖」(みなかみ町)

利根川ダム資料館あない図
前橋市元総社町593-1 ☎027-251-2272
開館時間/9:30~16:30 入館無料
※土日祝日も開館しています。

メールマガジン配信中
利根川ダム
統合管理事務所
所は、メールマガジン「利根川の流れ」を配信しています。利根川上流域やダムの情報、イベント情報などをお知らせしています。ぜひ登録して読んでください。もちろん購読は無料です。

お知らせ
利根川ダム資料館からのお知らせ
「クイズラリー」開催中
オリジナルグッズをゲットしよう!
「石ころアート」と「木のストラップ」の体験コーナーが好評
無料!

※読者のみなさんから提供していただいた個人情報は、プレゼント当選者への発送や子ども記者当選者への連絡用として使用させていただきます。それ以外の「目的外利用」はいたしません。

「川の子ども新聞」編集委員会
群馬県小学校中学校教育研究会
前橋市立二之宮小学校教諭
前橋市立藤小学校教諭
塩澤 巻浩
群馬県小学校中学校教育研究会
前橋市立立小学校教諭
前橋市立立小学校教諭
仲川 博雄

第15号の子ども記者を募集します。
きみも記者になってみよう!
「ぼくも(わたしも)記者をやってみたい!」。そんな小・中学生は、上のクロスワードパズルの応募といっしょに「子ども記者参加希望」と書いて送ってね。希望者が多いときは抽選します。どんな取材をするのかについては、あとで本人に連絡するね。